

令和6年度

入園のごあんない

ようこそ! せいりょうようちえん!



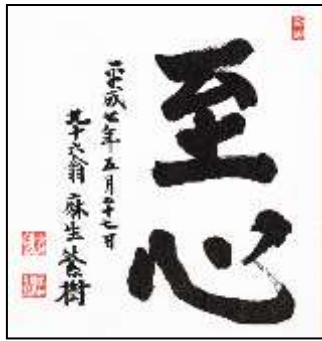
学校法人 麻生文教学園

西陵幼稚園

☆ 目次 ☆

- 本学園 建学の精神 1
- 本園の教育目標 2
- 本園の概要 3
- 幼稚園はどんなところ? 4
- 幼稚園教育要領 5
- 西陵幼稚園 幼児像 6
- 年間教育目標とねらい 7
- 遊びは重要な学び 8
- 特色1 アットホームな幼稚園 9
- 特色2 食事 /満3歳児 /課内教室 10
- 特色3 /ティーム保育 /サポーター制度・安全対策 11
- 特色4 スクールバスコース/課外教室 /コミュなび 12
- 西陵幼稚園の楽しい一日 13
- 西陵幼稚園の行事（4月～9月） 14
- 西陵幼稚園の行事（10月～3月） 15
- 令和5年度 新入園児募集要項 16

本学園 建学の精神



麻生学園創立者、前理事長、前学長、教育学博士 麻生 繁樹 書

「至心」とはまごころのことです。

すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え

職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めております。

「育ての心」序より(倉橋 惣三選集より)

自ら育つものを育てようとする心。それが育ての心である。

世にこんな楽しい心があるか。それは明るい世界である。温かい世界である。

育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於て相楽んでいる心である。

育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。

育つものの偉きな力を信頼し、敬重してその発展の途に遵うて(したごうて)発達を遂げしめようとする。

役目でもなく、義務でもなく、誰の心にも動く真情である。しかも、この真情が最も深く動くのは親である。

。次いで幼き子等の教育者である。そこには抱く我が子の成育がある。日々に相触る子等の生活がある。

斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の最も貴い

育ての心である。それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。

それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親。

子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。

育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

「育ての心」より～小さき太陽

よろこびの人は、子どものための小さき太陽である。明るさを傾かち、温かみを伝え、生命をカづけ、生長を育てる。見よ、その傍らに立つ子どもらの、熙々として輝き葉映ゆるを。なごやかなる生の幸福感を受け充溢れているを。〈中略〉希わくは、子どもらの為に小さき太陽たらんことを。

この文章の中の小さき太陽とは、保育者のことです。『子どもらにとっての希望となるような、太陽のような存在であってほしい』という願いが込められています。

私たち職員は、いつも誰にでも平等に照らしてくれるお日様のように、惜しみない愛情を子どもたちに注ぎ、生きる力の根っこを育て見守る存在でありたいと思っています。

※倉橋 惣三・・・1882～1955 日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け日本の
フレーベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者

育ての心を持ち、ご一緒に相楽しみましょう。



本園の教育目標

- ・土の中で小さな根っこは大きく根を張り (幼児期)
- ・やがて芽を出し大きな幹となり (児童期)
- ・枝葉を広げ咲かせ (青少年期)
- ・やがては立派な実をみのらせる (社会人)



望ましい人間形成

幼児教育はしっかりとした根っこを育てます

① 基本的生活習慣を身につける

- ・物を大切にする
- ・約束や決まりを守る
- ・人に親切にする
- ・挨拶をする
- ・あとかたづけ
- ・衣服の着脱

- ・責任感
- ・自主性
- ・自省心
- ・協調性

② 情緒の安定

- ・子どもらしさ
- ・やさしさ
- ・同情心
- ・がまん強さ
- ・気力
- ・明るさ
- ・落ち着き
- ・素直さ
- ・いとおしさ

- ・情 操
- ・愛 情 愛
- ・慈 愛

③ 道徳性の芽生え

- ・助け合う
- ・公共物を大切にする
- ・譲り合う
- ・自分の物と人の物との区別
- ・人に親切にする
- ・感謝する

- ・自主性
- ・責任感
- ・根気強さ
- ・自省心
- ・向上心
- ・公正さ
- ・指導性
- ・協調性
- ・同情心
- ・公共心
- ・積極性
- ・自立心

④ 知的発達の芽生え

- ・意欲、意志
- ・知識
- ・やる気 (根気強さ)
- ・驚き
- ・見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- ・積極性
- ・創造力
- ・工夫力
- ・記憶力
- ・行動力
- ・向上心
- ・指導性
- ・自立心

⑤ 土づくり (家庭・社会・幼稚園)

- ・しっかりとした根っこが大きく育つよう、家庭と幼稚園が手を取り合って協力しましょう。

西陵幼稚園の概要



- 1 本園は学校教育法第1条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園（学校）です。
- 2 本園は幼児の心身の調和的な発達の特徴を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い、心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場です。
- 3 幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開する為に必要な施設・設備も整い、閑静で環境にも恵まれた幼稚園です。
- 4 「教育は人なり」と言われるように、本園は教師による絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。
- 5 本園の教育課程は、幼児の心身の調和的な発達の実情を考慮するとともに家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては、年齢別、クラス割の指導を主としていますが、時には異年齢クラス編成による縦割り保育も行っています。
- 6 本園は2年、3年、4年を通した教育計画に基づき、年長（青組）、年中（赤組）、年少（桃組）、満3歳児（たんぽぽ組）を主体とした教育を行っています。
- 7 園休日は土、日曜、祝日、その他、夏・冬・春期の休み及び園で定めた日となっています。毎月第2・4水曜日は午前保育（11:30 降園）です。
- 8 本園は、大学・短期大学の教育実習生を受け入れており、学生と園児の活気ある触れ合いの教育実習の現場でもあります。
- 9 私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は、学校法人麻生学園及び麻生文教学園の麻生学園グループの小学校です。
受験をご希望の方は、園長推薦が出来ますのでお申し出ください。

幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

○「学校」というと小学校からと思いませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。3歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。

○学校教育法第1条（文部科学省）

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第1条に規定されています。幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

○幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

○このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

○幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが、しかし、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二條

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三條

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

幼稚園教育要領

(平成29年3月告示
平成30年4月より施行)

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしています。そこで、5領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化(整理イメージ)



幼稚園教育要領（5領域）

5領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5つの側面から捉えたものです。

1. 健康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
3. 環境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
4. 言葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
5. 表現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○明るい笑顔でのびのびとした子ども

- ・子どもは遊びの天才！五感を使ってじっくりと遊び込める子どもに育てたい。
- ・笑ったり、泣いたり、怒ったり・・・感受性豊かな、子どもらしい子どもに育てたい。

○元気な挨拶、返事が出来る子ども

- ・自分から元気いっぱい挨拶が出来る子どもに育てたい。
- ・すべてのものに感謝の気持ちを持てる子どもに育てたい。
- ・直に相手を思いやる気持ちを持てる子どもに育てたい。



○自分のことは自分で出来る子ども

- ・まずはやってみよう！好奇心を持ち何事にも挑戦する子どもに育てたい。
- ・失敗してもくじけず、最後まであきらめない子どもに育てたい。
- ・ルールや決まりを守り、考えて行動出来る子どもに育てたい。

*知性（知）・感情（情）・意欲（意）のバランスのとれた
子どもを育てます





年間教育目標とねらい



1 学期

適応の時期

2 学期

発展の時期

3 学期

充実の時期

★満3歳児

- 新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- 基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★3歳児

- 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 基本的な生活習慣が身につけ、自信を持ってのびのびと行動する。
- 進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★4歳児の年間目標

- 異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- 身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★5歳児の年間目標

- 主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- 年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- 自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- 就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

学校教育のスタートは『幼稚園』から

幼児期は、周りへの興味、関心、人との繋がりが急速に広がり、少しずつ自立へ向かう時期です。幼稚園はこのような発達を踏まえて、初めての集団生活の中でひとりひとりの良さや可能性を伸ばしていくところです。



○遊びは重要な学習

幼児期に太陽の光を浴びて、すがすがしい風を感じながら思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになります。

幼稚園での遊びを通して、人とのかわりを深めたり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議に気づいたりすることで、小学校以降の学習の基盤を作っています。



遊びのルールを
友達と学ぶ
社会性の芽生え

友達と協力する
楽しさ、面白さ、
大切さ、考える力

コミュニケーション能力の発達、
言葉の獲得

泥・砂の感触
水加減…
不思議体験
様々な気づき

意見の違いから
相手を認め、
自分の思いを
表現する

完成した時の
達成感、充実感
満足感

一つのこと
じっくり取り
組む集中力

幼稚園での遊びを通して
たくさんの「学び」

アットホームな 西陵幼稚園



みんなともだち みんな家族



お母さんの
絵本読み聞かせ



お父さんと
ハロウィンごっこ

☆みんなともだち☆

*朝の自由遊びでは、クラス関係なく全園児が関わり合いながら遊びます。
泥団子作り、虫探し、おままごと、ボール遊び、鬼ごっこ、スクーター遊び・・・
大好きな遊びを見つけて、友達と一緒に楽しむことで、友達の輪も広がり、
安心して過ごせる場が出来、情緒の安定につながります。
また、サッカーや一輪車などに挑戦するお兄ちゃん、お姉ちゃんを見て、
憧れを持つ子も多く、真似をしたり教え合ったりと仲睦まじい姿が見られます。

*ティーム保育（縦割り保育）も行っています。年長さんが先生のように、
小さなお友達のお世話を進んでしてくれます。

*サポーター活動や、おやじの会を通して、お父さん、お母さん同士もとても
仲が良く、楽しく園行事に参加していただいています。

特色ある保育

○食育

園の畑に野菜を植えて大切に育てています。

（トマト・ピーマン・ナス・おくら・きゅうり等）

みんなで収穫し、いただくことで、食に対する感謝の気持ちを育みます。野菜を克服するいい機会にもなります。



○給食・お弁当

週4回（月・火・木・金）は給食、水曜日（第1・3）はご家庭からの手作り弁当です。栄養士が子ども達の栄養のバランスを考えメニューを作成しています。（アレルギー対応もしています。ご相談ください。）月に1回、カレーライスもあります。



○満3歳児クラス（たんぽぽ組）

少人数の特別クラスです。（人数に応じて年少クラスと合同になります。）

基本的な生活習慣を身につけながら楽しい園生活を送ります。

給食、スクールバス、保育料等、3、4、5歳児と同じです。午睡の時間を設けています。オムツでも大丈夫です。（*満3歳の誕生日から無償化の対象となります。）



○体育教室（課内教室） * 保育時間内に実施

スポーツクラブの体育専門講師による体育教室を行っています。

運動遊びの基礎を学びながら、強い心、たくましい体を養います。

マット・跳び箱・鉄棒・平均台・ボール運動等。



○英語教室（課内教室） * 保育時間内に実施

セイハ英語学院の外国人講師と日本人講師のチームティーチングにより、簡単な日常会話、単語の発音などを楽しく学びます。

○ティーム保育（縦割り保育）

2・3・4・5歳の異年齢児同士での縦割り活動を行っています。縦割りを通して友達を思いやる心、いたわる優しい心が育まれています。みんなが兄弟姉妹のように、仲良く触れ合っています。



○保護者サポーター

西陵幼稚園には「母の会」はありません。役員活動はなくサポーター制度を取り入れています。

「出来る方が、出来る時に、出来る事」のサポートを無理なくしていただいています。お母様方には、絵本読み聞かせや絵本貸出サポート、ガーデニングなどが大人気です。



*おやじの会

「お父さんも子育てにかかわりたい！幼稚園を楽しみたい！」
という思いから始まった活動です。

「すべての子ども達のために」をモットーにしており、
毎年、お父様方に七夕祭りを開催していただいています。
子ども達にとって夏の素敵な思い出になります。
運動会や園庭整備でも、力を発揮していただいています。



○安全対策

- ・不審者防止のため、電気施錠・モニター付きインターホンで訪問者を確認しています。
また、園内には防犯カメラを設置しています。
- ・毎月、不審者、火災、地震の避難訓練を行っています。地域の方とも交流を行い、
地域全体で子どもの安全を守っています。
- ・スクールバスにはドライブレコーダー、車内点検サポートシステム（安全装置）を設置
しています。

○幼児教育・保育の無償化について

保育料は保護者の所得に関わらず、すべての(3歳～)お子様を対象に月額 25.700 円を上限額として無償化となり、保護者の皆様からいただく毎月の保育料は、25.700 円を超える部分のみとなります。支給方法は、幼稚園が保護者に変わって受ける法定代理受理となりますが、各市町村によって異なります。無償化の対象は保育料部分のみで、給食費や教材費、バス代等は対象外ですので、保護者負担となります。

また、預かり保育に関しては、保育の必要があると認定を受けた場合、月額 11.300 円を上限として無償化されます。

○スクールバスコース



- ・毎年、バスコース、時間は変更になります。
- ・特別な理由がない限り、年度途中の変更は出来ません。（引っ越しはご相談ください。）
- ・子ども達の保育時間確保の為に、遠方には行けません。
コースの詳細について何かありましたらご相談ください。

○降園後の課外教室（希望者のみ）

降園後の専任講師指導の教室です。スイミング教室以外は、幼稚園で行います。

*課外教室の日は帰りのスクールバスには乗れませんので各自お迎えに来てください。

曜日	教室	内容
月	スイミング教室(ベスト)	水泳を通して強い体を作ります。バスでの送迎があります。
火	スポーツクラブ(あじさい)	跳び箱・マット・鉄棒等で基礎運動能力を高めます。
水	サッカー教室(あじさい)	サッカーを通して協調性を育みます。試合にも出場します。
金	音楽教室(ゼンオン)	個人レッスン、グルーブレッスンのコースがあります。

○コミュなび (ICT システム) の導入

コミュなび (ICT システム) を導入しています。園児の登降園時間の管理や、スクールバスの運行状況確認、保護者の方との連絡メールなど、様々な場面で活用しています。毎日の出欠連絡なども簡単に申請できますし、園の行事や詳細のお手紙を、いつでもスマートフォンで確認することが出来、とても便利です。

スクールバスご利用の方は、子ども達の園への到着時刻も確認出来、安心です。

西陵幼稚園の楽しい一日

◎8：30～9：10 <登園・お着替え>

職員が正門でお子様をお預かりします。時間内に登園してください。
スクールバスは8：15～10：00に運行します。

◎9：10～ <朝の自由遊び>

体操服に着替えたら園庭で自由に遊びます。
朝日を体いっぱい浴びて外遊びをすることによって
心の安定を図り、集中力を高めます。



◎10：00 <体操・チャレンジタイム>

全園児で元気いっぱい朝の体操をします。
その後、クラスごとに鉄棒や雲梯、縄跳びなど
強い体作りをします。



◎10：15 <朝のお集まり・視診>

朝の会（ご挨拶・歌・出席確認・視診）をします。

◎10：30 <主活動>

カリキュラムに沿った活動を行います。
製作遊び（折り紙・お絵描き・造形遊びなど）
音楽遊び（楽器遊び・リズム打ち・リトミック遊びなど）
運動遊び（跳び箱・鉄棒・マット・ボール・縄跳びなど）



◎12：00 <昼食>

楽しい雰囲気の中、昼食を食べます。

◎13：00 <自由遊び>

午後もみんな自由遊びをします。
たんぽぽ組さんは、午睡（お昼寝）をします。

◎14：00～ <降園準備・降園>

着替え、帰りの会（お話・歌・ご挨拶）をして、降園します。
降園は、クラスごとに時間を分けています。

◎保育終了後～18：00 <なかよし広場（預かり保育）>

異年齢の子ども同士で過ごし、製作や、集団ゲームをしたりして遊びます。

西陵幼稚園の楽しい行事

行事を通してドキドキ、ワクワク体験をし、子ども達の『心』を育てます！

☆印は保護者参加の行事です。

4 月



- ☆入園式
- ☆進級式
- ・対面式
- ☆親子歓迎遠足

5 月



- ・交通安全教室
- ・夏野菜植え
- ・園外保育

6 月



- ・歯科検診
- ☆親子デー
- ・プール開き

7 月



- ・七夕会
- ☆合奏発表会
- ・1学期終業式
- ・一泊保育（年長）

8 月



- ・夏休み
- ・夏期保育

9 月



- ・2学期始業式
- ・お月見会

10

月



☆運動会

- ・みかん狩り遠足
- ・ハロウィンごっこ

11

月



☆マラソン大会

- ・麻生フェスティバル

12

月



・クリスマス会 ☆2学期終業式

1

月



- ・3学期始業式
- ・絵画展
- ・お茶会（年長）

2

月



- ・豆まき
- ・体験入園

3

月



- ☆ひなまつり発表会
- ・お別れ会（年長） ☆卒園式
- ☆3学期修了式

*誕生会、身体測定、避難訓練は、毎月行います。

*劇団を招いての観劇会を行っています。（人形劇、マジックショー等）

*年長組はデイサービス訪問に行き、おじいちゃん、おばあちゃんと触れ合います。

*年中組は、校区の敬老会に参加し、遊戯の発表をしています。

<コロナウイルス感染予防のため、デイサービス訪問、敬老会参加は現在行っていません>

令和6年度 新入園児募集要項

1. 出願資格及び募集人員

区 分	資 格	定 員
満3歳児（たんぼぼ組）	令和3年4月2日生～令和4年4月1日生	10名
3歳児（桃組）	令和2年4月2日生～令和3年4月1日生	30名
4歳児（赤組）	平成31年4月2日生～令和2年4月1日生	20名
5歳児（青組）	平成30年4月2日生～平成31年4月1日生	若干名

2. 入園願書配布及び受付・面接・納入金について

◎入園願書・入園のご案内配布 <令和5年10月2日（月）より>

平日 9:00～17:00



◎入園説明会 <令和5年10月11日（水）>

時 間：受付 13:30 開始14:00～15:00

持参するもの：入園のご案内・幼稚園プロフィール（夢・心・愛）・室内履き（親子共）

*幼稚園の教育方針、保育内容などについて詳しく説明いたします。

*駐車場は園庭を開放しますが、数に限りがあります。



◎入園願書受付・面接・制服採寸 <令和5年11月1日（水）より>

時 間：平日 9:00～随時受付いたします。お子様と一緒にご来園ください。

①入園願書に必要事項を記入の上、ご提出ください。

②お子様、保護者の方との面接

③年間保険料（傷害総合保険）・諸経費（1期分）をお納めください。

④制服採寸

*受付順にご案内しますので、お待ちいただくこともあります。

*持参するもの・・・入園願書・年間保険料（傷害総合保険）及び諸経費（1期分）

納入金の返金は、一切出来ませんので、その旨ご了承ください。

<入園願書記入について>

- ・黒のボールペンで記入し、地図は目標物をはっきり書いてください。
- ・保護者の捺印、お子様の写真添付、通園方法の記入を忘れないようにしてください。
- ・お子様の発達、療育に関してご相談がある場合は、面接の際に必ずご相談ください。



◎制服・学用品渡し <令和5年3月13日（水）>

時間：受付 14:00 開始14:15～

持参するもの：制服・学用品代（金額は個別にお知らせいたします。）

保育用品を入れる大きくて丈夫な袋・室内履き（親子共）



学校法人 麻生文教学園

西陵幼稚園

〒819-0041

福岡市西区拾六町4丁目28-3

TEL 092-881-6300